

わたしが描く夢

小野寺 優夢 さん

登米中2年／登米町・荒町

国際看護師を目指して

私の夢は、世界の人たちを笑顔にする国際看護師になることです。

ある日、SNSを通じて、世界には医療の行き渡っていない地域があることを知りました。日本の医療と開発途上国の医療とでは、医療行為やサービスの内容が全然違うと感じました。私は、そのような地域の人たちにも笑顔になってもらうため、この職業に就きたいと思いました。

そのために、家族、友達、先生など、さまざまな人の意見を聞くことが大切だと考え、耳を傾けるようにしています。さらに、学校の授業に加えて家庭学習として毎日英語の勉強にも取り組んでいます。

私は、国同士が争う戦争がなくなれば良いと思います。どの国も手を取り合い、一人でも多くの人を救う医療が発展し、みんなが素晴らしい人生を送る未来を夢見ています。今後も、自分にできることに全力で取り組み、夢に向かって日々一歩ずつ前進していきたいと思っています。

よりそい半世紀

慕い慕われ、これからも一緒に

★出会ったきっかけは

【進】住んでいた行政区が隣同士で、親の勧めで結婚したんだ。

【しげ子】優しい人だと思ったよ。

★お互いについて

【進】なんでも嫌がらずやってくれる人だね。

【しげ子】いろいろなことに挑戦して、周りのために頑張る人だから、みんなに慕われているね。

★夫婦円満のコツは

【進】けんかしたことがないかな。

【しげ子】怒った顔を見たことがないね。どんなことでも知っていて、頼りになるの。

★最近楽しかったことは

【しげ子】2人の孫の結婚式で、思いがけず2回もハワイに行ったの。南国の見たことがない景色を見ることができて、とても嬉しかったね。

★これからしたいこと

【二人】お互い健康に気をつけて、家族と楽しい時間を過ごせるようにしていきたいね。



阿部 進 さん(86)

しげ子 さん(82)

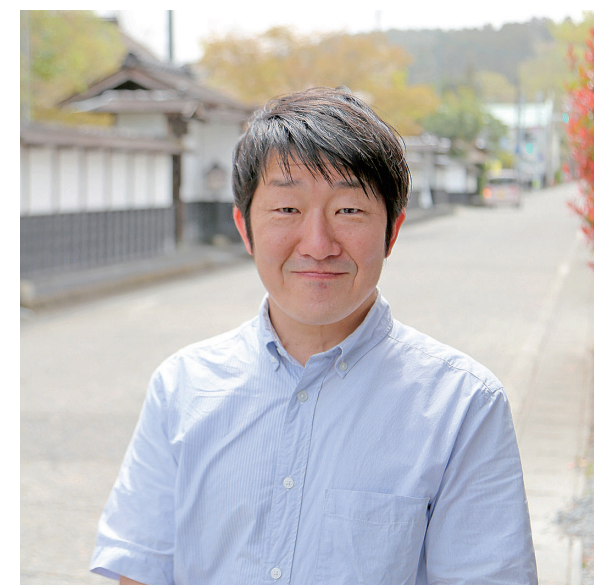
登米町・大谷地／1961(昭和36)年1月入籍

市民リレーエッセイ

「思いを形にするサポーター」

新田 修平 さん

登米町・辺室山



登米市シティプロモーションサポーターNo. 4。登米油麴井の会会員番号2。みやぎマスター検定準1級。突出していない微妙に「惜しい」ポジション、それが僕です。

20代後半に地元登米町に戻ってきて、看板屋(屋外広告業)を営んでいます。

登米町は歴史と伝統だけでなく、B級グルメの油麴井や音楽フェスの森波など、ユニークなカルチャーが育まれた観光拠点です。先輩たちの影響で多くを学び、地元の魅力をさらに広めたいと考えています。有志で人力車を再稼働させ、好評を得た経験もあります。最近は町内のイベント情報をSNSで発信するのが趣味です。

看板屋という仕事は、お客様や作家さんの思いを形にするお手伝いであって、決して僕自身が前面に出るものではありませんが、予想もしないような面白い景色を眺めることができるという醍醐味があります。そんな「おいしい」ポジションにいることに感謝して、これからも日々を楽しんでいきたいです。

次号は、茅原美弥さん＝迫町茂栗＝ヘバトンをつなぎます

わが家のアイドル



加藤 聖菜 ちゃん(2歳)

2021年10月12日生まれ
豊里町・横町
真人さんの長女
外遊びが大好きで元気いっぱいな聖菜ちゃん。お話も上手になりました。楽しい思い出をたくさん作ろうね。



中野 新大 くん(3歳)

2021年1月9日生まれ
米山町・栗ヶ崎
貴久さんの長男
末っ子長男の甘えん坊。二人のお姉ちゃんが大好きです。たくさん食べて大きくなってね。

及川 陽琉 くん(1歳)

2023年2月28日生まれ
中田町・加賀野一
陽太さんの長男
毎日元気いっぱい甘えん坊の陽琉くん。これからも沢山食べて、おっきくなあれ。



門田 暖想 くん(1歳)

2023年4月24日生まれ
迫町・天形
光男さんの次男
癒やし担当のぼく。ねえね、にいにのまねっこで、日々たくましく成長中です。

